

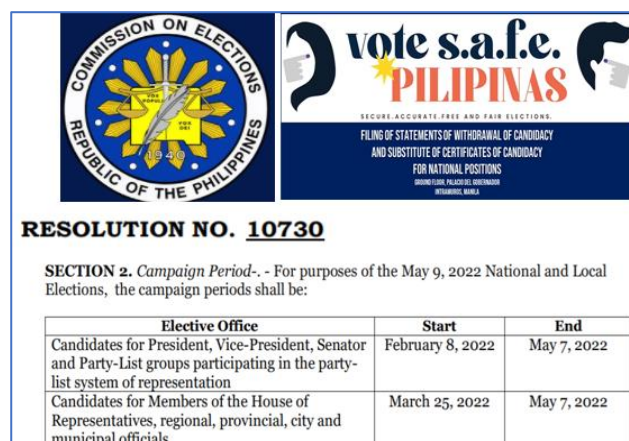
<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年11月30日

フィリピン総選挙及びフィリピン大統領選挙 3

選挙管理委員会 (COMELEC) からの最新情報によれば、2022年の選挙向けの登録済み有権者の数は11月18日時点で6,700万人近くに達し、その内18歳～30歳の若者は約30%を占めていた。これは有権者の登録期間を当初の9月30日から10月末まで1ヶ月延長した結果だと言われている。



COMELECは11月17日、来年の選挙運動の

出所: COMELEC

実施方法やその期限等のガイドラインに関する決議10730を公布した。新型コロナ禍の影響も踏まえ、ソーシャルメディアでの運動に関する多くの規制が導入される模様である。

大統領職の立候補に関して、11月下旬時点で正式な立候補者は6名となっている。その詳細は以下の通り。

写真の順番はテーブルの番号に対応して左から右、上から下へ

番号	立候補の氏名	年齢	備考
1	フランシスコ・ドマゴソ FRANCISCO DOMAGOSO	47歳	フィリピンの政治家・元俳優(芸名: Isko Moreno)である。2019年からマニラ市の22番目の市長を務めている。
2	クリストファー・ゴ CHRISTOPHER GO (BongGo)	47歳	ドゥテルテ大統領の長期的な補佐官
3	パンフィロ・ラクソン PANFILO LACSON	73歳	立候補を宣言した最初の人物。上院議員で有名な犯罪の解決専門の元警察署長である。2004年以来2度目の大統領選出馬。
4	フェルディナンド・マルコス FERDINAND MARCOS (BongBong)	64歳	政党「連邦党」を創設したマルコス元大統領の長男・上院議員である。2016年に副大統領候補として出馬した。
5	マニー・パッキャオ Manny Pacquiao	42歳	フィリピンのプロボクサー・政治家である。
6	マリア・レオノール・ロブレド MARIA LEONOR ROBREDO	56歳	現フィリピン副大統領、2番目の女性副大統領でもある。レニー・ロブレドとも呼ばれている。

出所: フィリピンオンラインニュースサイト



フィリピンの世論調査機関パルス・アジアが11月16日～18日に実施した世論調査では、9月中旬における調査結果（混戦状態だった）と比べて大きな変化があるようである。

大統領職の正式候補者6名のうち、元上院議員フェルディナンド・マルコス（FERDINAND・MARCOS、BongBong）氏がすべての地域グループで高支持率を獲得し、高く評価されている。同国の島別の調査結果は表の通りである。

LEVELS	TOTAL	NCR	NCL	SL	VIS	MIN
MARCOS, FERDINAND JR. "BONGBONG"	56.7	50.3	60.3	46.2	54.7	70.0
ROBREDO, MA. LEONOR "LENI"	15.4	26.9	14.1	22.1	13.5	4.8
UNDECIDED	8.8	5.8	8.3	8.5	12.9	7.1
DOMAGOSO, FRANCISCO "ISKO MORENO"	6.9	7.0	8.6	10.5	5.0	2.6
GO, CHRISTOPHER "BONG GO"	4.1	3.5	2.0	3.7	3.8	7.7
PACQUIAO, EMMANUEL "MANNY"	3.0	0.6	1.4	3.1	3.8	5.2
LACSON, PANFILO "PING"	2.9	3.5	2.6	5.1	2.5	0.6
NONE	1.5	0.6	1.7	0.8	2.5	1.3
ABELLA, ERNESTO "ERNIE"	0.4	0.0	0.3	0.0	1.3	0.3
DE GUZMAN, KA LEODY	0.3	1.8	0.3	0.0	0.0	0.0
OTHERS	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
PARLADE, ANTONIO JR.	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0

出所:フィリピンの世論調査機関パルス・アジア

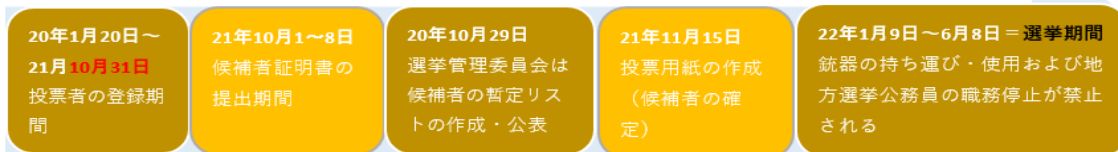


出所:フィリピンのオンラインニュースサイト

フェルディナンド・マルコス氏は政党「連邦党」を創設したマルコス元大統領の長男・上院議員である。2016年に副大統領候補として出馬した経験がある。

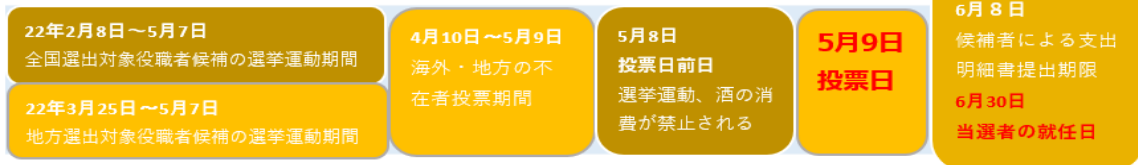
当社では、今後もフィリピン総選挙の進展について引き続き状況を報告していく。

フィリピン総選挙のメイン・タイムライン



同総選挙の準備は2020年1月から開始されており、コロナの感染拡大で一部遅れも出たものの、2022年1月9日～6月8日の選挙（期間）は順調に実施される見通し。

2022年1月9日～6月8日 = 選挙期間の詳細



2022年4月14日～15日は祭日（聖木曜日と聖金曜日）のため選挙運動が禁止される。

フィリピンThe Commission on Elections (Comelec) リリース報道に基づきCPVN作成